

2023年度前期授業評価のまとめ

今年度前期の授業評価アンケート調査の結果概要を以下にまとめる。概要を以下に記す。

	登録学生数 (研究生含)	回答者		授業満足度					授業目的達成度			
		数	%	1	2	3	4	5	1	2	3	4
基礎科目												
1	50	45	90%	0	1	5	29	10	0	0	12	32
2	52	39	75%	1	1	2	21	14	0	0	5	34
3	11	9	82%	0	0	0	6	3	0	0	1	8
4	16	9	56%	0	0	1	4	4	0	0	1	8
5	8	4	50%	0	0	1	2	1	0	0	0	4
6	16	15	94%	2	0	3	7	3	0	0	3	12
小計	153	141	92%	3	2	13	80	43	0	0	22	118
プログラム科目												
1	6	5	83%	0	0	0	3	2	0	0	0	5
2	10	6	60%	0	0	0	2	4	0	0	0	6
3	21	16	76%	0	1	0	9	6	0	0	3	12
4	22	17	77%	0	0	0	7	8	0	0	2	15
5	10	6	60%	0	0	0	3	3	0	0	1	5
6	26	16	62%	0	1	3	6	6	0	0	4	12
7	4	1	25%	0	0	0	0	1	0	0	0	1
8	13	12	92%	0	0	1	8	3	0	0	3	8
9	20	15	75%	0	0	1	10	4	0	0	4	11
10	6	4	67%	0	0	0	1	3	0	0	1	3
11	9	7	78%	0	0	0	4	3	0	0	1	6
12	14	1	7%	0	0	0	0	1	0	0	0	1
13	7	7	100%	0	1	0	6	0	0	0	0	7
14	3	4	133%	0	0	0	2	2	0	0	0	4
15	2	3	150%	0	0	0	2	1	0	0	0	3
16	17	12	71%	1	0	3	7	1	0	0	4	8
17	10	5	50%	0	0	0	4	1	0	0	0	5
18	23	20	87%	0	0	1	11	8	0	0	0	20
19	10	7	70%	0	0	0	5	2	0	0	1	6
20	15	9	60%	0	0	3	6	0	0	0	6	3
21	14	11	79%	0	0	0	3	8	0	0	0	11
22	3	3	100%	0	0	0	2	1	0	0	0	3
23	4	3	75%	0	1	0	2	0	0	0	1	2
小計	269	190	71%	1	4	12	103	68	0	0	31	157
合計	422	311	78%	4	6	24	172	103	0	0	53	255

授業満足度：1.Strong Disagree、2.Disagree、3.Neither agree nor disagree、4.Agree、5.Strongly agree
 授業目的達成度：1 あてはまらない、2 あまりあてはまらない、3 ややあてはまる、4 あてはまる

1. 23年度春学期より TACT による授業評価アンケートに移行した。
2. 「授業目的達成度」については全学共通質問で4段階評価となっている(従来は5段階評価)。
3. 回答率は全体で22年度後期が62%、23年度前期が78%であり、上昇した。
4. 満足度・達成度ともに概して高い評価を受けているが、「授業満足度」は22年度後期では「5. Strong Agree」が最も回答が多いのに比べて、23年度前期では「4. Agree」が最も多かった。逆に「授業目的達成度」は22年度後期と比較して23年度前期では最高評価の「4. あてはまる」が非常に多かった(22年度後期:267人中136人、23年度前期:308人中255人)。

2. 学生の意見・感想 ＜肯定的なもの＞

- 毎週異なる先生から話を聞くことができ、その先生や専門を知ることができ、これらの異なるトピックがどのように相互に関連しているかを学ぶことができ、本当に楽しかった。
- 学生のためにディスカッションの時間を設けている先生もいた。グループで一緒に考えることで、生徒の理解が深まると思う。
- 先生は自身の経験や例を用いて授業内容を説明することに努めており、わかりやすく理解するのに非常に効果的だった。
- 変則的な時間にもかかわらず、私たちを飽きさせない授業中の先生のエネルギーにはとても感謝しています。
- 授業は興味深く、とても役に立ったと思う。先生は多様な教材やさまざまなアプローチを駆使して、授業をより魅力的なものにしていた。
- 先生は学生としての経験と経験豊かなライターとしての経験を生かし、学生生活をより快適にし、ライティングスキルを向上させるための貴重なヒントを提供してくれた。先生は、講義を楽しく有益なものにするために、わざわざ時間を割いてくれた。また、ミニ・ライティングの練習もたくさんあり、それに対するフィードバックにも多くの時間を割いてくれた。
- 科目は退屈で威圧的かもしれないが、先生はそれをできるだけ楽しく、興味深いものにしようとしていた。また、すべての生徒が平等に参加できるように、これまで参加する機会がなかった生徒にもよく質問を投げかけていた。練習問題やフィードバックはとても参考になった。私たちの課題すべてに細かく目を通そうとする先生の努力にとても感動した。
- 内容や先生の教え方はライティングを向上させる方法を理解するのに役立った。
- 一番役に立ったのは引用についてである。さらに、学術的な情報源の探し方や、私たちの生活を便利にしてくれる様々な技術的なツールについても学ぶことができ役に立った。
- 先生はエネルギッシュで自分の仕事を楽しんでいて、彼はとても率直で、生徒とうまく関わっていた。先生と一緒に学べてよかった。
- どの授業も非常に有益で、先生方は、私たちが対象国について理解を深め、フィールドワークのための提案書にどのようにアプローチしたらよいかを教えてくれるために、魅力的で惜しみなく知識を共有してくれました。
- 先生は、授業を補完するために可能な限りの補助教材を使用し、最も質の高い先生の一人であったと思う。
- 先生はオンラインコースの進行において本当に素晴らしい仕事をしてくれた。改善すべき点は、ノートをアップグレードすべきだ。
- 先生のテーマに対する熱意と配慮は伝染するものだった。講義はいつもとても楽しく、示唆に富んでいました。トピックや関連論文もとても面白かった。いくつかの論文は実際に読み直した。唯一残念だったのは、技術的な部分を理解できなかったことである。開発学の奥深さに気づかせてくれたこの授業には、一生感謝している。
- ほぼ完璧な講義だけど、分布の影響の部分は少し難しすぎる。もっと単純なおもちゃのモデルを参考にすれば、なお良いだろう。
- 先生は素晴らしい仕事をし、私が理解できるような実践的な例を用いてクラスを魅力的にしてくれた。先生はとてもフレンドリーで楽しい方だが、内容はアカデミックなものだった。先生は、自分自身を表現するときに、より専門的な用語を学び、使うように促してくれた。
- 先生は、優れた教授であるだけでなく、基本的な質問を受け止め、敬意を持って対応できるほどオー

ブンで親しみやすい素晴らしい人物であるため、模範とされるべきだと思う。

- 私たちが講義を理解できるまで辛抱強く説明してくださり、また、トピックの大小にかかわらず、私たちの質問にも丁寧に答えてくださったことに感謝してる。
- どんな小さな質問でも、大きな質問でも、辛抱強く受け入れてくださったことにとても感謝している。先に進む前に、私たち全員が理解できているかどうか確認してくれてありがとうございました。
- 先生はとても謙虚で、彼から学ぶのは素晴らしいことだった。クラスのみならず一緒に方程式を解くことができた。素晴らしい学習方法だった。
- この授業は楽しく、論理的思考について多くのことを学んだ。毎週、一種のリサーチパズルを解くことは、コース内容を復習するための実践的な方法としてとてもよかった。
- 授業の途中ですぐに休憩が取れるのがありがたかった。頭の中を整理することができ、講義中も集中力を保つことができた。
- この授業は、さまざまな手法の紹介としてとても役に立ったし、自分の研究にどのような手法を使いたいかを考えるのに役立った。また、自分ができるさまざまなタイプの研究を考えることができた。
- リーディング教材はかなり内容が濃く、ネイティブでない学生には大変だったと思う。もちろん、挑戦することは勉強になることですが、他の読書もしなければならぬので、生徒たちは授業の勉強を中断することもあったと思う。
- 授業は非常によく構成され、トピックの論理的な流れがあり、開発学を理解するための包括的な理論的背景を提供してくれた。先生の努力と勇気づけられる学習環境の提供に感謝している。
- このクラスは重い課題を課されることがなく、先生が他のクラスとのつながりを考慮してくださるので、とてもありがたかった。
- 毎週のコメントペーパーによって、授業で学んだことを思い出すことができた。しかし、最終課題については、できれば提出期間を延長するか、3000語など語数の基準を減らすのがいいと思う。全体的に、エキサイティングな授業でした。
- このクラスは今学期で一番好きなクラスだった。ちょっと激しいけど（リーディングが時々難しく理解できないし、クラスで無理に話さなければならないから）、結局、毎週学んだことを覚えたのはこのクラスだけだった。
- 読書課題とコメントペーパーは、授業前に効果的に資料を読ませるので今後も続けるべきだ。
- 毎週の課題は、学生が必要な資料を読み、授業の準備をするのにとても役に立った。授業のトピックはとても興味深く、開発を学ぶ学生にとって重要なものだった。
- この授業はとてもためになった。先生の教え方はとても歓迎的で、勇気づけられ、新しいアイデアや提案を受け入れてくれた。先生は多くの質問を投げかけ、クラス全員をディスカッションに参加させようとした。先生から多くの情報が共有され、その後、個々の例や双方向のディスカッションが行われた。
- 先生がクラスで行ったことはすでに期待以上だったし、教え方も適切だったと思う。私にとっては変える必要はまったくない。
- 先生は単に講義をするだけでなく、常に私たちに会話に参加するよう促し、私たちが学んでいることを明確に説明しようとした。先生は明らかにこのテーマにとっても情熱を持っている。
- コーディングやデータサイエンスの経験がない人には少し重い内容だったと思う。授業中、GSIDの学生はすんなり講義についていけるのですが、私はそうではなく、指示についていけないこともあった。この点についてはTAセッションが役に立ったが、先生が一般選択で受講する人のために授業内容を改訂してくださるとありがたい。
- 教材や課題は適切でした。時々、他の講義の課題に対応するのが大変でしたが、全体的には良い学習経験でした。
- 授業中のディスカッションが良かった。
- クラスはとてもよく組織され、管理され、編成されていた。温かく、フレンドリーで、親しみやすい先生のアプローチと教え方をとても楽しむことができた。クラスでのディスカッションやグループ・ディスカッションは、とても誘導され、指示され、明確な方法で楽しめた。割り当てられた読み物も楽しく、量もちょうどよく、圧倒されなかった。

<批判的なもの、改善を求めるもの>

- 何人かの先生（たぶん半分くらい）は、講義を行うときにクラス全体を惹きつける力が弱く、ついていくのが難しかった。終盤にスライドを急ぐ人もいたが、内容は非常に興味深く、彼らからもっと学びたいと思ったのに残念だった。
- 毎回の授業でディスカッションの時間がもっとあれば良かった。
- 先生の中には時間が足りず、カバーしきれなかった内容もあった。時間管理に注意してほしい。
- 先生は遠隔操作で講義に出席したが、講義の録音では非常に理解しにくく、イライラしたのは私だけではなかったようで、音質のせいで言葉を解読するのが難しかったようである。その講義からは何も得られなかった。
- Zoomでの出席を許可してほしい。
- 学生に教科書を読むようによく奨励し、毎週小テストを行ってほしい。
- クラス内でのディスカッションをもう少ししてほしい。
- すべての講義にグループ・ディスカッションがあると良い。
- 生徒の自由な参加意欲を高めるために、活発で競争的な環境を確立してほしい。
- 授業前にクラス・プレゼンテーションを提供することは、生徒の準備に役立ち、また読み物に関する小テストは、生徒が問題を理解するのに役立つと思う。
- いくつかの講義は長すぎて、いろいろなトピックがあった。集中しようとしても、さまざまな話題のせいで論理的についていけなかった。
- ある方法を適用した研究や読書に焦点を当てるのではなく、より良い調査質問やインタビュー質問の作り方など、実践的な知識に授業の議論の大半を集中させ、より良いものにするためのフィードバックを受けた方が良いと提案したい。先生の講義の一部には、このようなポイントも含まれているが、他の内容よりもこの点に重点を置くべきであり、授業中の演習の大半をこの点に集中させるべきだったと思う。例えば、15分間クラスメートとその場で簡単な自由形式の質問をするようなことは、ライフストーリーやキキトリ・インタビューをする前に学ぶべきアプローチかもしれない。あるいは、可能性のある質問を考え、チーム・ペアでフィードバックを行い、お互いの質問を改善するなど良いと思う。最終的なレポートでは、なぜ仮説を通じて2つのインタビューの共通点を見つけ、それを他の大局的なコンセプトと絡めることを中核的な目標として押し進めるのかがよくわからない。インタビューは極めて定性的で、一般化できるようなものではない。その代わりに、ライフストーリーの重要なポイントに焦点を当て、文献で見出したことに基づいて一定の分析ポイントを加えることはできたはずだが、このエクササイズに社会経済的な物語や仮説を無理に持ち込む必要はなかったと思う。
- 先生が質的データ分析のコーディング・プロセスを教えてくれるともっといい。
- 授業中、先生ははっきりと名前を覚えている10人ほどの人たちをいつも当てていたように思う。いつも当てられるのはちょっとかわいそうだった。たとえ自分の考えや答えを持っていたとしても、すべての参加者が大人数の前で発言することに抵抗がないわけではないと思うし、もっとバランスをとって発言を指名したほうが良い。
- 学問や研究のための読解力や分析力を鍛えるために、先生が毎週読書会を開いてくれたらもっといい。
- 講義は素晴らしいが、記事や段落の構造、カジュアルな文章では使われるがアカデミックな文章では適切でない可能性のある文章について、もっと内容を盛り込んでほしい（例えば、"it"、"and"、"but"、"because"で文が始まる場合など）。私の母国語は英語ではないので、派手な単語や魅力的な表現を学んでも、すぐに自分の文章に応用するのは簡単ではないかもしれない。それよりも、アカデミックな文章を書く上で、本当にフォーマルでありながら比較的シンプルな表現方法を学びたい。
- 課題の評価が厳しいことがあった。評価基準については、もう少し詳しく話した方が良いと思う。
- 先生は学生に対して恩着せがましく、見下したような態度で接し、先生の人格と参加者の学力差や学生のレベルの低さを常に強調していた。さらに、課題の評価には客観的な基準が欠けていた。対照的に、高評価を受けたものは個人的な意見に基づいており、使用された基準の妥当性を低下させていた。最後に、授業で要求されるポイントのひとつは参加であるのに、先生の対応によって参加がかなり抑制された。たとえば、あるとき先生が質問し、手を挙げた学生に対して「だめだ、君はしゃべりすぎだ」と答えた。私は、これは学生に対する感受性と尊敬の欠如だと思う。
- 質的分析のやり方（例えばコーディングの仕方）を教えてもらえるととてもいい。
- 自分たちが何を求められているのか理解するのが難しいことがあった。

- 先生は、学期を通してとても包括的な講義をしてくださいました。しかし、トピックが重く、ついていくのが大変な時もありました。
- 特にグラフの作り方など、より深く理解するためには対面授業が理想的にしてほしい。
- 講義の進捗状況や理解度を把握するための定期的な課題があれば、より役立つと思う。
- 授業にあまり集中できなかった。グループ・ディスカッションやタイムリーなケーススタディをもっと増やすべき。
- 私のリサーチ不足かもしれないが、講義をサポートする読み物や資料が見つからなかった。講義の復習のために、それらがあつたほうが良い。
- 生徒が授業内容をより理解できるように、先生が授業前に教材をアップロードしてくれることを願っている。
- ケーススタディや問題をもっと増やすべき。
- 理論の応用についてもっと説明があれば、スライドにもっと例があれば、実際のデータがあれば、なお良い。
- TAの授業と講義がもっとリンクしている方が有益である。
- 生徒が知っていると思いついてはいけません。
- 専門分野を専攻していない学生もいるので、最初のセッションで先生が基本的な用語について簡単に説明することもできると思う。
- 授業をもっと魅力的なものにしてほしい。成績の何パーセントかを参加に割り当てれば、受講生が教材をもっと読み、授業からもっと利益を得られるようになると思う。
- 時間が限られていて、講義を進めなければならないことは理解しているが、理論的な内容が多かったので、トピックを把握するのが難しかった。
- スライドの構成は要点がまとまっていて好きなのですが、専門的な部分については、説明が難しいからとか、前のセクションで時間が足りなかったからということで、先生が駆け足で説明されることがあった。難しすぎるかもしれないという点については、私たちがこの授業を受けたいと思っていることを考えると、説明することで「複雑な」概念を理解することができるかもしれないので、完全に飛ばしたり、急いだりするよりは、説明するようにした方がいいと思う。
- 資料の名前が少しわかりにくかったので、週ごとにファイルがあれば、どのPDFを読むべきかわかりやすくなる。
- 配布される資料は、ベースとなる読み物としてはとても役に立つが、実際の講義では、ディスカッションの流れや構成についていくのがかなり難しく、授業中ずっと集中するのは難しい。パワーポイント（テキストは少なめ）をメインの教材にすれば、今どの論点にいるのかがより明確になるのではないだろうか。
- テキストベースのpdfファイルは復習に便利だが、授業で使われた単語がスライドに満載された説明にはついていけなかった。
- 質的なフィードバック（コメント）であれ、量的なフィードバック（スコア）であれ、課題に対する簡単なフィードバックがあれば、私たちの課題が正しい方向に進んでいるかどうかを消化するのに役立つと思う。隔週の課題でも十分かもしれないし、毎週にするのであれば、最大単語数（例：300単語）を設定することで、処理に関する質問に対してより簡潔で直接的な回答をすることが期待されていることがわかると思う。要求がないので短い回答もできるが、それで十分なのか、先生が求めているものなのかわからないので、つつい長い回答をしてしまう。
- クラスメートの発表後の積極的な参加を促すために、先生は私たちに質問だけを求めるのではなく、聴衆や生徒の一般的な感想やフィードバックを求めることができる。私たちはそのトピックにあまり詳しくないし、ほとんどの側面が初めてのことなので、必ずしも質問があるとは限らず、クラスで共有されたポイントをそのまま受け止めて、まず情報を吸収することもある。発表者への質問だけでなく、より多くのプロセス・ポイントを許容すれば、よりエンゲージメントが高まるだろう。
- いくつかの講義は、それぞれあまり違いがなかったもので、重要なポイントをほとんど持ち帰ることができなかった。
- 週によっては、講義の内容は同じでケースが異なるだけのことがあった。もっといろいろなトピックを掘り下げることができればいいと思う。
- 発表のための読み物がもう少し短いか、数が少なければ助かる。
- 学習内容の見直し、学習した知識を再度応用するための課題の提示。
- より多くの教材、より多くの例、より多くのクラス活動を通じて、学習プロセスを促進する。
- いくつかの指示や説明が理解できないこともあった。そのような箇所では、いくつかの指示を簡略化

- することが助けになるかもしれない。
- 授業は興味深くダイナミックで、さまざまな方法を組み合わせて理解を深め、生徒のスキルを向上させていた。さらに、すべてのコマで生徒全員に話す機会が与えられていた。
 - ソリューション・ツリーを作ったり、ディベートをしたりする実践的なアクティビティが一番楽しかったし、ためになった。おそらく、このクラスではもう少しそういうことができたはずだ。しかし、ディスカッションの機会はたくさんあった。
 - このコースは、学生にとって国際開発の理論的、知的な部分をととてもよく説明している。コースの前半では、さまざまな学派について学ぶことができ、興味深く、重要なものでした。ディベートやスピーチの練習もよかった。
 - あまりしゃべらない学生に一度は意見を言うように勧めてみてはどうだろうか。国の背景が違うので、人前で話すことや、たとえそれが正しい意見でなくても、意見を言うことへの恐れを克服する練習にもなる。ディスカッションを重ねることで、スピーキングスキルも向上していく。
 - 授業中や課題において、明確な指示と要件を示してほしい。
 - 理論的な背景について話すことなく、すぐにケーススタディに飛びついたように感じたので、言葉の定義にもっと時間をかけてもよかったと思う。
 - 授業がオンラインであることは、生徒の関与が少ないため、コースの指導レベルに何らかの影響を与えているのではないかと思う。しかし、授業が対面式であったときは、はるかに良かった。各国のケーススタディについて議論することも、授業で学ぶコンセプトをよりよく文脈づける良い方法かもしれない。また、視聴覚教材を授業に取り入れるのも良いかもしれない。
 - この授業はズーム形式のため、ついていくのが難しいこともあった。しかし、コースのための配布資料はとてもわかりやすく、理解しやすかった。
 - 将来的には、新しく、更新され、構造化されたノートが喜ばれるかもしれない。
 - 内容（パワーポイントも）をもっとフレーム化して理解しやすくしてほしい。
 - 授業はとても楽しいが、宿題は好きではない。